



エムダイヤ(富山県滑川市、森弘吉社長、076・476・0062)の産業廃棄

産業廃棄物の分離・破碎機

エムダイヤ

レアメタル再利用で人気

物の分離・破碎機「エコセパレ」写真」シリーズの人気がレアメタル(希少金属)の高騰を受けて高まっている。特に家電製品や携帯電話などの処理用装置は今年すでに販売

ファイル いい話

したものを含めて10台の引き合いがある。家電など向けの2012年12月期売上高は前期比6倍の約2億円を見込む。

同機は1998年に発売。

じわじわと販売を伸ばし、最近「電子部品などに含まれるレアメタルを再利用する動きが活発化」(森社長)したため引き合いが増えた。

従来、金属と樹脂といった異なる素材が混在する廃棄物の処理は、破碎と分離にそれぞれ専用の機械が必要だった。エコセパレは1台で処理ができる。投入物の種類や形状に幅広く対応でき、刃物の交換も簡単。「廃棄物を価値の高い物に変えられる」(同)点をアピールして一層の拡販を狙う。(富山)